

小 論 文

【問題】

次の文章を読んで、「かわさき芽吹塾^{めぶき}」の取り組みについて200字程度で説明しなさい。また、あなたの関心のある社会問題を提示し、それを解決するために大学生として何ができるかを考えて400字程度で書きなさい。

きょう、学校で何があった？そんな、よくある問いかけも、あえてしないのだという。なぜなら、誰もがみんな、学校に行っているわけではないから。学校に行かないことを気にしている子もいるから。きょう、何があった？それでいい▶中央大学4年の吉沢春陽^{はるひ}さん(21)はいま、そんなことをいつも考えながら「かわさき芽吹塾」の代表を務めている。経済的に困窮する家庭の子どもや、不登校の子ら40人の中高生に無料で勉強を教える塾である。講師はすべてボランティアの大学生。運営は寄付などで成り立っている▶始めたのは2年前。日本の子どもの7人に1人が貧困に苦しんでいる。そう書かれた新聞記事を読んだのがきっかけだった。「自分は恵まれていたんだと気づきました」▶授業の様子を見せてもらった。土曜の夕方、川崎市にある公共施設の一室に、若者が集まってくる。講師と生徒はほぼ一対一。「おー、いいねえ」「いえー」。友達同士のような会話が聞こえる。何やら楽しそうだ▶いまや無料の塾は全国にある。学校の授業についていけない。お金のかかる塾に行けない。「居場所」がない。そんな子どもたちの大切な学び場だ。でも、では、そもそも学校って何なのだろう。素朴な疑問も頭をよぎる▶「やる気があるから、みんな学力の伸びがすごいです」と吉沢さん。別れ際に尋ねてみた。いま何が大事だと思いますか。「人情と、思いやりです」。はにかんだ笑顔と一緒に、そんな答えが返ってきた。

(朝日新聞『天声人語』2023年6月3日付より)